

kirari yokkaichijin Vol.150

きらり四日市人

国際バレエコンクール
「ユース・アメリカ・グランプリ (YAGP)」
ジュニア部門女子 1 位獲得
小原芳美バレエスタジオ所属
杉本奈槻さん



市内在住の中学 1 年生・杉本奈槻さんは、4 月に米国で開催された、若手バレエダンサーの登竜門として知られる国際コンクールのジュニア女性 (12～14 歳) 部門で、1 位を獲得しました。同コンクールには奨学金制度があり、9 月からは、世界的に有名な「モナコ王立・グレース・バレエ学校」へ留学します。世界を舞台に活躍するバレエダンサーを目指して一歩を踏み出した杉本さんに、受賞の喜びと今後の抱負などをお聞きました。

剣道との二刀流で鍛えたバレエの道

ジュニア部門には世界各国の予選を勝ち抜いた 200 人が参加し、本選で約 50 人に絞られました。12 位以内を目標にしていたので、1 位で名前を呼ばれたときは、信じられないくらいうれしかったです。自信がつき、バレリーナになりたい気持ちがさらに固まりました。

バレエを始めたのは 5 歳の時、友達に誘われたのがきっかけです。難しい技も練習を重ねるごとにできるようになり、楽しさが増しました。

同じころから剣道も始めました。小学生時代には全国大会へ出場したこともあります。体幹を鍛えられるところが、バレエと共通しているように感じています。

レッスンが充実しているモナコのバレエ学校へ

世界の複数のバレエ学校からお誘いをいただいたのですが、たくさん練習をしたかったので、レッスンが充実しているモナコのバレエ学校を選びました。留学先で必要なフランス語や英語も学んでいます。知らない土地に行き、一人で挑戦するのですが、もっとバレエがうまくなりたい気持ちでわくわくしています。

舞台の真ん中で踊るプリンシパルを目指して

これからは、上半身の使い方を鍛え、表現力にも磨きをかけたいです。たくさん練習を積み、いつか「ローザンヌ国際バレエコンクール」に出場して憧れのバレエ団に入団し、舞台の真ん中で踊るプリンシパルになることが夢です。

留学し成長した姿を多くの人にお見せできればと思っています。



ユース・アメリカ・グランプリで踊る杉本さん



コンクールのトロフィーと賞状



スタジオで練習中の杉本さん

9 月放送の CTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)